



令和5年度 城山地区地域活性化事業交付金 交付決定事業実績

令和6年3月31日現在

No.	事業等の名称	団体名	事業実績の概要				交付決定 年月日	交付金額 (単位:円)
			事業の目的	事業の実績	事業の成果	事業実施団体による自己評価		
1	しろやま☆おせっかい	城山地区まちづくり会議 高齢者とともに築き支える地域づくり部会	<p>城山地区内の住民が少しだけおせっかいになり、周囲への直接的な声かけのほか、目配せや気配りによる間接的な見守りの意識を醸成し、地域全体に浸透させ、誰も取り残されない、取り残さない”しろやま☆SDGs”の街を形成するため、今回は城山地区の住民の方々と実際に地区内を回り、まちのいろいろな表情(風景)をながめながら、周囲への声かけと併せて、声かけによらない目配せ・気配りによる異変の有無の確認などを通じて”おせっかい風土”をさらに広め根づかせる。</p>	<p>令和2年度に、異変に気付くためのポイントを示したチラシ「しろやま☆おせっかい」を民生委員児童委員協議会の協力により城山地区内各戸に配布した。今年度は”おせっかい風土”をさらに広め根づかせるため、城山地区の住民(在学・在勤を含む)から参加者を募り、実際に地区内を回って、まちのいろいろな表情(風景)をながめながら、周囲への何気ない声かけと併せて、声かけによらない目配せや気配りを行う「まちかどウォッチング」を実施し、参加者への「おせっかいバッチ」の配布を通じて取組の連帯意識の向上を図った。</p> <p>◆部会全5回(出席者:①10名②8名③9名④9名⑤8名) ◆7月22日 川尻小学校区(原宿地区)まちかどウォッチング(出席者:20名) ◆9月23日 広田小学校区(町屋地区)まちかどウォッチング(出席者:15名) ◆12月9日 湘南小学校区(小倉地区)まちかどウォッチング(出席者:21名) ◆1月27日 広陵小学校区(城山・谷ヶ原地区)まちかどウォッチング(出席者:32名)</p>	<p>城山地区内の様々な地区でまちかどウォッチングを実施し、まちづくり会議(部会)で検討してきた、地域を知り人と繋がることで目配りや気配りを行う、ゆるやかな見守りの気風のきっかけとなった。</p> <p>また、まちづくり会議委員や協力者によるエリア内全戸チラシ配布を行ったことにより、まちかどウォッチングに参加しなかった人に対しても、広く啓発をすることができた。参加者同士のコミュニケーションも守りわれ、地域の繋がりの一助となった。</p>	<p>事業を実施した4地区各々に自治会、民生委員等、協力参加者が力となり呼びかけ、コミュニケーションの繋ぎ役としての積極的な行動が、今後事業を進める地域力となることを感じた。</p> <p>まちのいろいろな表情(風景)をながめながら、周囲への声かけと併せて、目配り・気配りによる異変の有無の確認などを通じて”おせっかい風土”への種蒔きができたことを実感し、これからさらに根づき広まっていくと確信している。</p>	R5.4.28	120,000
2	城山湖ヒルクライムアタック雌龍籠山ステージ	城山湖ヒルクライム実行委員会	<p>・参加選手が練習に訪れたりするため、通年の訪問者を増やし、城山地区の魅力発信と知名度の向上に繋げる。 ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会自転車ロードレース競技の大会後のレガシーとして、自転車ロードレース競技の普及及び城山地区の魅力発信と知名度の向上を図る。 ・市民が主体となって「城山地区のために!!」をスローガンとして地域内住民の連携強化を図る。 ・スタッフも楽しめるイベントとし、地域連携、事業参加の楽しさや重要性を市民に体感してもらう。</p>	<p>◆実行委員会全7回(出席者:①12名②12名③12名④11名⑤50名⑥10名⑦9名) ◆ボランティアスタッフ説明会(出席者:11名) ◆前日準備(参加者25名) ◆大会当日(参加選手:105名 ボランティアスタッフ77名)</p>	<p>男性107名 女性11名(神奈川県74名 近郊県44名)合計118名の参加申込(当日出走は105名)があり、地域団体(自治会、観光協会、商工会等)や個人ボランティアの協力により、地域一体となった事業として開催することができた。また、第4回を迎えることにより参加リピーターも約50%おり、参加者からの評価も高く自転車ロードレースとしての認知が高まり、城山地区の魅力発信の良い機会となった。</p> <p>本大会を通じて、自転車競技をPRし、シティプロモーションの推進やシビックプライドの醸成に繋がられたものと考えている。</p>	<p>・ボランティア77名(自治会、観光協会、商工会等、個人)が参加することで地域一体となった事業運営を行うことができた。</p> <p>・大会の状況をリアルタイムで会場にアナウンスすることで、観戦者と選手が一体となって盛り上げることができた。</p> <p>・麓(城山総合事務所)から山頂(城山発電所)まで観客送迎用無料マイクロバスを運行し、観戦しやすい環境を整えた。</p> <p>・ドクターや救急救命士を配置し、緊急時に対応できる医療体制をとり、万が一の場合に備え、参加者やボランティアの安心・安全を図ることができた。</p> <p>・城山湖周辺を会場とすることで、自然環境や観光資源をはじめとする魅力を発信することができた。</p>	R5.4.28	350,000

No.	事業等の名称	団体名	事業実績の概要				交付決定 年月日	交付金額 (単位:円)
			事業の目的	事業の実績	事業の成果	事業実施団体による自己評価		
3	みんなの津久井湖夏祭り	みんなの津久井湖夏祭り実行委員会	<p>①第1回の時に遠方からのサイクリストで、イベントに参加された方の中に「城山にはこんな素晴らしい所が有るんだ、仲間にも紹介しよう」と言う方がおられた。イベントを通じて津久井湖(水の苑地)、そして広く城山地区の魅力と伝統文化を知っていただく。</p> <p>②このイベントは若者が中心になって、広くボランティアを募り市民参加型のイベントを目的としている。(実行委員長が女性で30代、副実行委員長は20代男性等、多くの実行委員は若手となっている。)また大学生や高校生のボランティアも多い。本イベントを通じて若手スタッフが育ち、地域における公共的な活動の担い手となって活動することを目指す。</p> <p>③前はキッチンカーによる出店が中心であったが、今回はテントを用意し地元の飲食店を中心にに出店していただき、地域の経済活動の活性化の一助となることを目指す。</p>	<p>◆実行委員会全9回(出席者:①25名②23名③25名④22名⑤23名⑥22名⑦24名⑧20名⑨16名)</p> <p>◆7月28日 出店者・ボランティアスタッフ説明会(出席者:40名)</p> <p>◆8月11日 イベント当日(来場者数:8,500名)</p> <p>◆8月12日 イベント翌日(みんなでゴミ拾い)(参加者:51名)</p>	<p>①昨年度の「第1回みんなの津久井湖夏祭り」の来場者5,000人に対し、今回は8,500人と大幅に増加した。また、知名度が上がってきたことにより城山地区以外の来場者の増加が目立った。</p> <p>②昨年度と比べ実行委員が20名から30名に、ボランティア数も50名から95名と大幅に増え、その中心が20~30代でイベント開催の大きな力となった。</p> <p>③昨年度の「第1回みんなの津久井湖夏祭り」では予想以上の入場者のため交通渋滞を起こし迷惑をかけてしまい、その反省として「イベントの安全と交通渋滞回避」を目標にかかげ、警備員の増員や危険箇所へのボランティアの配置、そして駐車場の確保や川尻小学校と広陵小学校から相模原城山高校前までの定期シャトルバスを運行することによって無事故・無渋滞を実現できた。</p> <p>④イベントを持続可能なものとするために広く事業者や個人の協賛を募り、昨年度の21社(人)から97社(人)と大幅に増加し、計画どおり花火も打ち上げることが出来た。</p>	<p>出店数やイベント数の倍増、花火の打ち上げもあり前回をはるかに超える8,500人の来場が有り、会場は終始盛り上がりを見せた。また前回の最重要課題であった「安全の確保と渋滞の回避」については無事故・無渋滞を達成できた。また、実行委員やボランティアスタッフの充実により新たな企画として「ランタン・キャンドルnight」やビンゴゲーム、キッズダンス等により楽しんでいただけたと思われる。知名度が上がってきたことにより協賛していただいた会社(人)が大幅に増え、将来本事業が自走できる足掛かりを作ることが出来た。</p>	R5.4.28	578,000
4	つくい湖湖上祭	つくい湖湖上祭実行委員会	変更承認申請書の提出により、交付決定をした地域活性化事業交付金が不要になったため、実績報告書の提出がなかったもの。					
							1,048,000	